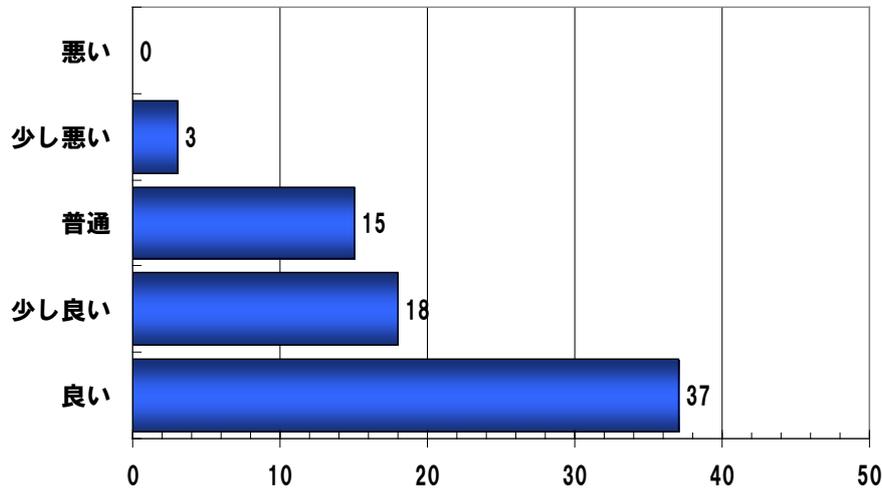


日時：2009年12月15日(火) 10:00~17:00

場所：建築会館ホール

参加者数：会員115名、登録メンバー2名、会員外55名、学生27名、計199名(講演者除く)

1. シンポジウムの印象は？ (回答数73)



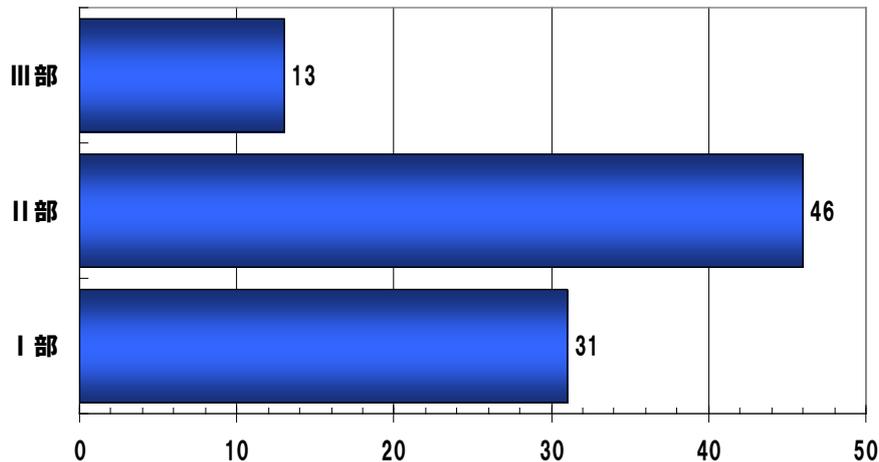
■コメント

- ・ 施工業者、設計事務所等色々な分野の方々の発表が聞けたのは良かった。
- ・ 幅広い知識を習得できた
- ・ 環境建築を多方面の立場から考えて発表されていたので役立つ内容だった
- ・ 講演目が多く興味深い内容が多々ありました。もう少し絞って、1人あたりの講演時間長めにとっても良いのではと思いました。
- ・ コンセプトや概念的な発表が多く、具体的な設計手法についての報告がほしかった。
- ・ 1題15分では少ない。可能であれば2~3日でもう少し時間をとってほしい。内容は非常に興味深いものばかりです。
- ・ 一人当たりの時間をもう少し長くしていただくと、より理解を深められたと思います。
- ・ 1件ずつをもう少し長く、深くしてほしい。資料のカラー化、拡大化をおねがいしたい。
- ・ 1人当たりもう5~10分程度長くしてほしい。
- ・ 1人1人にあたえられた時間が短すぎて、もう少しゆっくり聞きたかった。
- ・ 内容が盛りだくさんで、時間が少なかった。
- ・ 建築設備シンポジウムなのに設備専門会社の発表が少なかった。
- ・ 1テーマ(演題)に15分は短すぎる。
- ・ 講演の時間が短くスライドのペースが速いので、もう少し時間をとってほしい。
- ・ 全体的に面白い内容が多かったです。
- ・ 配布資料がもう少し見やすいものであればと思います。
- ・ 1人当たりの時間が短い。テーマが分散していた。
- ・ 最新情報取得には良かった。
- ・ 題は良いが、あまり実践データの紹介がない。海外事例の紹介があっても良い。
- ・ タイムリーな話題なので良かった。ただ少々長い。
- ・ 色々な立場での取組みが聞けたのが良かったが、時間が短いのでは？
- ・ 主題は興味深く、申し訳ないが、スピーカーの方が多く15分単位は幕の内弁当であった。もっとサブテーマを絞って深く取り下げたら如何か。
- ・ 環境建築を紹介するプレゼンとしては素晴らしいと思いますが、タイトルの最先端とはあまり思えないものが目立ったように感じました。
- ・ 第I部は極めて散漫な印象、現状を述べるならもう少し絞ったほうが良い。あるいは個々の

発表についてもう少し仕切ってもらえればと思う。第Ⅱ部も第Ⅰ部よりましだったが似たような印象。もう少しエッセンスが取り出せないのか。興味深い話も多かったが、知っているようなことも多く、しかも主張していたりするので、全体的な評価としては普通にしました。

- ・ 時間が押していたためしょうがないとは思いますが、もう少し休憩時間をとっても良かったと思います。
- ・ 多数の業種の方々の講演で、様々な面の技術を聞くことが出来て良かった。

2. 興味深かったセッションは？（複数回答）



■コメント

- ・ 第1部と第2部で明確なコンセプトの違いが分かりにくかった。
- ・ 環境建築とファサード。
- ・ 技術的な内容が多かったから。
- ・ 官民の環境への取り組みを学べた。
- ・ パネルディスカッションは興味部かかった。(時間が短かったのが残念でした)
- ・ 北大の羽山先生は私の思っていたことをほとんど語ってくれました。
- ・ ZEBの実現と展開について。
- ・ 三菱地所様の実例が興味深かった。
- ・ 郡先生、木下氏、清水氏。
- ・ 設計者の視点で話されていたことが参考になった。
- ・ どの技術も非常に進んでおり、大変参考になりました。今後の仕事に活かしたいです。
- ・ やはり一方的な講演より、対話のほうがおもしろい。
- ・ net-ZEB。
- ・ 将来展望、対策、具体的な取り組みがわかり大変良い。
- ・ 産官学からの様々な技術、動向が開けた。
- ・ ZEBの実現と展開について、環境建築と環境設計。
- ・ 第3部が良かった。
- ・ 発表時間が短い、発表15分+質問討議5分=計20分くらいではいかがですか？
- ・ BIM, 三菱地所の知的照明、日計設計の話が興味持ちました。
- ・ 第2部の板ガラス、窓、その他も面白かった。
- ・ 第Ⅱ部の2)、4)、7)が良かった。
- ・ 建設現場における環境建築への取り組み、のお話がとても興味深かった。
- ・ 特に設計事務所の方のお話が勉強になりました。
- ・ 後半事例紹介が多かったため。
- ・ 事例データを沢山知ることができたので良かった。
- ・ 第Ⅱ部のメーカー側から見た環境建築のプレゼンが興味深かったです。
- ・ 第Ⅲ部はもう少し長くて良かった。各先生の最初のプレゼンが短いのは良かった。ただあまり長くなるとつまらなくなる。1時間位だろう。
- ・ 第Ⅱ部6)がとても興味深かったです。

- ・ 実際に使っている技術の話に興味深かった。

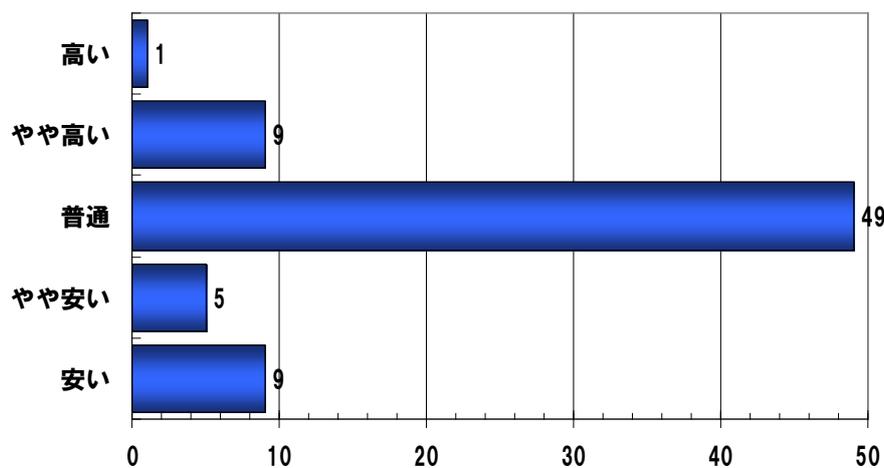
3. 来年以降のシンポジウムで希望するテーマは？

- ・ 第Ⅱ部の 8,9 のテーマのような、建築分野との融合
- ・ 海外環境建築の事例、(北米、EU,アジア)
- ・ 25%削減実現の省エネ新技術
- ・ 省エネ技術とその効果に関するテーマ
- ・ 環境
- ・ 環境建築と知的生産性(省エネルギー、室内環境と知的生産性への影響、実施事例)
- ・ テナント、ニーズ、ビル例との省エネ取り組み
- ・ 住宅分野、ローテクで省エネなもの
- ・ テーマ数を少なくして、1テーマに時間をかけたほうがよい。
- ・ 建築環境に関するもの。音環境に関するもの。
- ・ 再生可能エネルギー、未利用エネルギー
- ・ 事例の省エネ改修
- ・ 第Ⅲ部、特に建築メーカーの先端技術と導入事例を紹介してほしい。
- ・ 事例、新技術など
- ・ 今回と同テーマ
- ・ 住宅の環境性能
- ・ また同様の議題で継続が必要だと思います。
- ・ 今後も同様なテーマを継続してほしい。
- ・ 日進月歩の分野だと思うので、テーマとしては今回と同じでよい。
- ・ ZEB/国内だけではなく、世界動向も含む。
- ・ 最新技術の動向
- ・ 最新省エネ事例、技術、ZEB,BIM のその後
- ・ ZEB, ゼロコミ
- ・ 今回のように、最新の各社導入技術、事例などを紹介していただけるものを希望いたします。
- ・ 私にとっては前年本年のような多彩な環境負荷軽減に関する話題提供が望ましいです。
- ・ ゼロエネルギー住宅、建築はどのように実現するか？
- ・ ZEBに特化したシンポジウム
- ・ フリーディスカッション
- ・ 内容は同じでよい
- ・ 環境配慮建築をクライアント、メンテナンス側の立場から分析、評価する内容
- ・ 住宅部門における環境設計技術、太陽光発電の普及と環境設計技術
- ・ サステイナブル建築。エコか手法など
- ・ 自然エネルギーの本来の力。環境建築における自然エネルギー利用
- ・ 今回のテーマの part2 も可。但し、論点を絞ることでしょう。
- ・ テーマを絞って開催してください。丸一日は良いといえば(得しているという意味で、わざわざ来た甲斐があると言う気になる)しかし集中力が一日は保たない。
- ・ 空調設備について関連するものだとうれしいです。
- ・ 今日は設計なので、次は運用段階の最新技術を希望します。

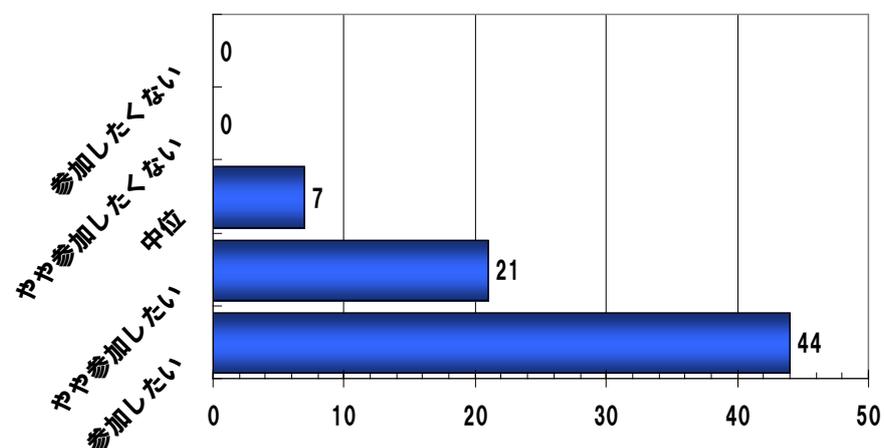
4. 来年以降のシンポジウムで希望する講師名、講演内容は？

- ・ 設計事務所。メーカー。大学関連
- ・ パネルディスカッションも長く。
- ・ 小泉雅夫(首都大学東京)
- ・ 建築現場における環境配慮
- ・ 音に関して
- ・ 内容による
- ・ ESCO 会社から改修事例、ex ファシリティソリューションズ
- ・ 意匠設計者の話も聞きたい、発注者(民間)
- ・ 竹中工務店 Work lace 本部徳本さんの最近の建築設計事例
- ・ 若い知のクリエイターの方。講演者は1人 30~40分 題目は半分程度か

5. シンポジウムの参加費は妥当でしたか？（回答数 73 人）

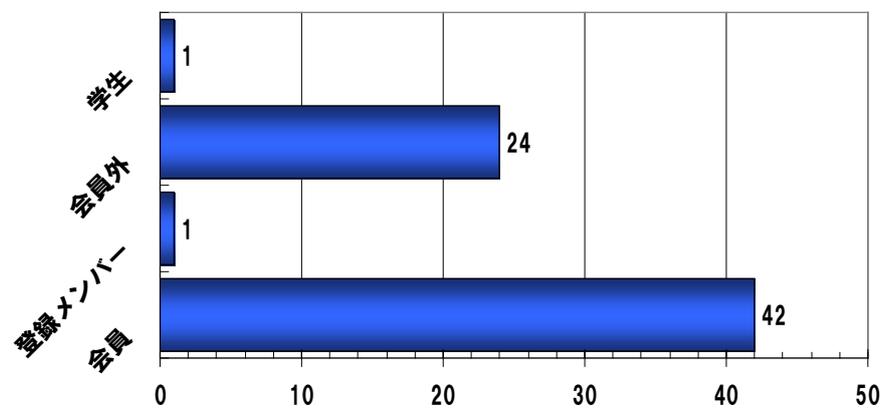


6. 来年以降も参加したいですか？（回答数 72 人）

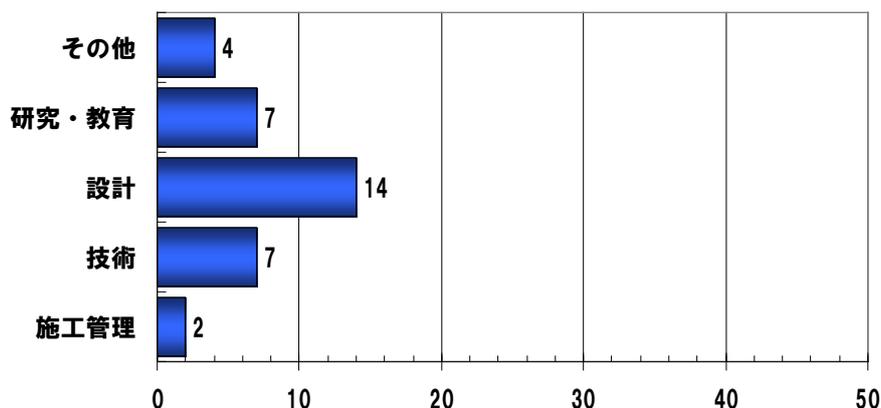


7. 会員種別、職種

会員種別（回答数68人）



職種（回答数34人）



8. 自由記入欄

- ・ 内容が幅広く、多岐に渡っていて興味深かった。(反面、内容の深さなどにばらつきがあると感じた)
- ・ 最新の理論と実践の間に大きな溝があるのを感じました。
- ・ 省エネ、低炭素などの個別要素技術(EX,窓周り照明)を取り上げ、集中した紹介と討議がほしい。
- ・ 時間に追われている感が強い。もう少し公演数を絞り、じっくり聞かせてほしい。
- ・ 建築デザイナーにより強くアピールするような視点から何か出来ないか。以下に協同するかをテーマに実例をベースとして示すことが今後のためになるのではないか。
- ・ テキストの内容が細かすぎて、文字が読めない箇所が多い。
- ・ 少し時間が短いと感じた。必要なら2日間でも良いと思った。(それぐらい内容が濃かった)
- ・ 資料にないスライドなどもあったので、本日のスライドをHPにして見られるようにしてほしい。
- ・ 全体的にシミュレーションのプレゼンが多かった。出来ればもっと幅広いお話が聞きたいです。
- ・ 各テーマは非常に興味深いものですが2回ぐらいに分けても良いので、是非もう少し時間をとって発表を聞きたい。概略説明で終わってしまうので、残念です。
- ・ 設計の現場で意匠と設備担当者のやり取りがどのようにされているのか興味があります。ユーザーの視点、価値観、ライフスタイルなど。既設建築のデータ、チューニングの技術について。
- ・ 資料の字が小さすぎて読めないところがあります。
- ・ 近年環境建築に対する関心は非常に高くなってきており、参加者の知識もかなり高くなっています。今後は特に設計者サイドからの真に最先端の取り組みを紹介していただければ、日本の環境建築への取り組みがより活性化するのではないかと思います。
- ・ 画面も大きく、資料も充実していて、わかりやすいプレゼンが多かったと思います。内容も多岐に渡っており、大変勉強になりました。ありがとうございます。

以上